

世界遺産 ニュース (No.7-1)

はっこう ながさきけんきょういくいいんかい
発行：長崎県教育委員会



世界遺産はどうやって決まる？

『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』は世界遺産への登録を目指しているけど...

世界遺産に登録されるためには、その遺産が世界遺産にふさわしいかどうかを、専門家の人たちに現地へ来てもらって調査を受けたり、厳しい審査を受けたりする必要があります。そして、世界遺産委員会で認められたものだけが世界遺産に登録されます。

～世界遺産への道のり～

世界遺産に登録されるまでの道のりは、下のようになっています。去年(2010年)はブラジルで世界遺産委員会が開かれ、新しく21件の世界遺産が登録されました。

『長崎の教会群とキリスト教関連遺産』は平成19年に暫定リストに登録されました！

<世界遺産登録までの流れ>

各国の政府が世界遺産の候補として世界遺産暫定リストに登録する。

世界遺産暫定リスト...世界遺産の候補を書いた一覧表

右の写真は、世界遺産暫定リストに掲載されている「日本のたからもの」です。今はまだ世界遺産ではないけれど、これから世界遺産に登録されることを目指しているのよ！

2010年、世界遺産暫定リストに、日本から2件の遺産を新たに仲間入りさせる()ことが決まって、これで日本は全部で14件になったんだ！

彦根城



古都鎌倉の寺院・神社ほか



長崎の教会群とキリスト教関連遺産



富士山

平泉 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺産群

新潟県「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」が去年11月、暫定リストに加わりました。
大阪府「百舌鳥・古市古墳群」

各国政府が世界遺産となるための推薦書や資料を作成し、ユネスコに提出する。



ユネスコ...国連で世界の教育・科学・文化に関わる機関

ユネスコから依頼を受けた専門機関が、世界遺産にふさわしいかどうか現地を調査する。



年に1回開かれて、開催地は毎年変わります。

ユネスコの世界遺産委員会で、世界遺産に登録するかどうか話し合い、審査する。



世界遺産に登録される。

